

事例 69

タイトル：頻りに誰かを呼び、訴える内容がその都度変わる A さん

・ < 事例の状況 >

A さんは、「おねえちゃん、こっちに来て！」「ここにいて！」と頻りに職員を呼ぶ。職員が側に行くと、「おねえちゃん大好き。」と抱きついたり、手を握ったり、歌を一緒に歌ったりするが、10 分程すると、「うるさい！」「だまれ！」「おまえに言ってない！」「あっちに行け！」と職員をはねのけたり、時には手を上げることもある。また、興奮状態がエスカレートし、物をたたいたり、大声で叫びながら地団駄を踏んだりすることもある。

・ < この事例で課題と感じている点 >

A さんの言動の急変や攻撃的な態度に、どのようにかわり、対応していけばよいか、また、訴えの内容もその都度変わるので、本人が何を望み、どうしたいのか分からず、職員の戸惑いやストレスが大きい。A さんにとっての安心や喜び、心地よい生活を実現していくにはどうしたらいいのか。

・ < キーワード >

攻撃的な言動。興奮。落ち着かない。どうしたらいいか分からない。

・ < 事例概要 >

【年 齢】 70 歳代後半

【性 別】 女性

【職 歴】 専業主婦（パート勤めを少々）

【家族構成】 三女家族と同居

【認知機能】 MMSE 4/3 0 点 重度のアルツハイマー

【要介護状態区分】 要介護 4

【認知症高齢者の日常生活自立度】 M

【既往歴】 高血圧

【現 病】 腰痛、アルツハイマー型認知症、外反母趾

【服 用 薬】 パキシル錠・プロプレス錠・オステン錠・ラシックス錠・エピスタ錠・
アリセプト D 錠・ヨーデル S 糖衣錠・レキソタン錠・デジレル錠

【コミュニケーション能力】 人とやり取りをしたり、声を掛けたり、訴えを言うことはできるが、内容がかみ合わないことが多い。相手の言うことは時々理解できる。

【性格・気質】 おだやかな人だったらしい。

【A D L】 生活全般に介助が必要。（移動・歩行・食事・排泄・入浴・着替え・服薬など）

【障害老人自立度】 A1

【生きがい・趣味】 元気なころは婦人会に参加しており、そこでの会話を楽しみにしていたようである。

【生活歴】 5人兄弟の次女として生まれる。20歳前後で結婚し、3人の女の子を産み、育ててきた。パートに出かけたり、地域の婦人会に参加したりしていたが、10年程前から認知症を発症。三女夫婦と同居しつつ、デイサービス、ショートステイを利用しながら在宅生活を続けてきた。3年程前に夫が亡くなったが、認識はない。周辺症状が強くなり在宅生活はもう無理、と家族の希望で1年程前、当ホームに入居となる。

【人間関係】 目が合った人には誰でも声を掛ける。大声で叫んだり、攻撃的な言動が見られているので、他の利用者からは避けられている。

【本人の意向】 どうしたらいいか分からない。誰か側にいてほしい。

【事例の発生場所】 グループホーム